



まちのニュース



まちの出来事や楽しい話題など、皆さんからの情報をお待ちしています。
総務課広報広聴係
☎ 5111 内線156・157
FAX 5100

光輝く「桜光の回廊」

12月15日、「桜光の回廊」十和田イルミネーションの点灯式が行われました。カウントダウンとともに点灯されたイルミネーションは、冬の夜空を明るく照らし駒街道を彩りました。雪が舞い落ちる中、皆さんも「桜光の回廊」を散歩してみませんか。

イルミネーションと屋台村は、1月14日まで開催しています。



屋台村で冷えた体もぽっかぽか



たくさんの方の家族連れが駒街道を散歩しました

しめ縄作りを体験

12月9日、三本木小学校体育館でPTA研修委員会毎年恒例のしめ縄作りが行われました。参加した35組の親子は、慣れない手つきでわらを縛り、折り紙で獅子舞を折るなど親子での共同作業に取り組みました。途中で縛ったわらが緩んだりしながらも、2時間ほどで新年を迎えるための個性豊かなしめ縄が出来上がりました。



最後は皆さんそろって、ハイポーズ！

宇樽部バイパス開通

11月25日、待望の宇樽部バイパスが開通しました。平成元年に調査を開始し、平成7年度に工事に着手。施工延長3,793メートルのバイパスには、延長1,145メートルのトンネル部があり、時間の短縮のほか冬期間の安全性が向上します。

当日は、バイパス入り口で式典が行われ、中野渡市長はじめ関係者のテープカットの後、通り初めをして開通を祝いました。

なお、従来の国道は4月1日まで通行止めとなります。



関係者によるテープカットの様子

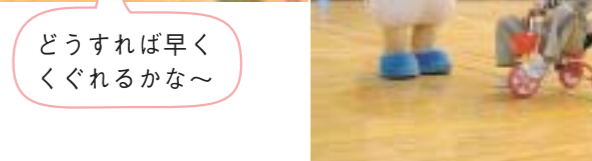
にぎやかに開催、市民屋内大運動会

12月3日、総合体育センターで第2回市民屋内大運動会が行われました。ラジオ体操で体を温め、個人・団体競技の全11種目を競いました。市内16地区の体育振興会は、それぞれの種目に合わせてチームを編成。特にチームワークが必要な団体種目は、選手・応援ともに熱が入ります。外は寒い1日でしたが、会場内は熱気に包まれ、温かい交流の場となりました。

団体種目	優勝地区
跳べないうさぎ	伝法寺地区
玉入れ	沢田地区
むかで輪くぐり	洞内地区
十和田参道関所やぶり	ちとせ地区
十和田湖サイクリング	切田地区
綱引き	松陽地区



スポレクあおもり2007のマスコットキャラクター「アプリート君」も応援！がんばれ、がんばれ～



どうすれば早くくぐるかな～



それ引つ張れ！連続優勝だ！

「子どもの外傷予防地域推進会議」実施中

子どもの死亡原因の第1位は不慮の事故などの外傷であり、病気より多く発生しています。

そのため、子ども一人ひとりの健康と命を守る取り組みの一つとして、子どもの外傷予防地域推進会議を、昨年8月から始めています。

11月27日に行われた会議では、モデル地域として活動している南、ちとせ、洞内、法奥4地区の「地域見守り隊」による活動状況などが報告され、危険個所のチェックや、自転車でのヘルメット着用の必要性など、活発な意見が交わされました。

今後各地域では、見守り隊と子どもたちが一緒に危険個所をチェックし、安全マップを作成の予定です。



11月27日に行われた会議の様子

市民フォーラム開催

「子どもの事故を減らすために」 ～安全安心のまちづくり(セーフコミュニティ)を目指して～

とき 1月28日(日) 午前10時～午後零時30分

ところ 十和田市立中央病院大ホール

講演 ▷子どもの命を守るセーフコミュニティについて

青森県健康福祉部健康福祉政策課副参事(医学博士) 反町 吉秀さん

▷いかに事故予防型社会を実現するか ～事故サーベイランスはこう役立つ～

(独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター

工学博士 西田 佳史さん

▷学校を地域づくりの核にしよう

～秋津コミュニティでの地域と学校の融合による安全安心なまちづくり～

千葉県鷺宮小学校長 宮崎 稔さん

定員 200人(定員になり次第締め切ります)

※青森県主催、十和田市共催、セーフコミュニティとわだを実現させる会後援。

申し込み先 1月5日～25日までに健康推進課(☎51181)へ

地域再生計画認定

十和田湖の観光再生について国から支援を受けるための「十和田湖観光再生計画」が総理大臣から認定を受け、12月4日に市長が認定書を受け取りました。

今後、同計画に基づき、国や県、民間事業者で構成されるプロジェクトチームが設置され、観光再生を図るための検討を行っていきます。



安倍総理大臣から認定書を交付される中野渡市長